令和５年７月１２日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

資料５－１

令和４年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【瑞浪地区
まちづくり推進協議会】

●実績の概要

事業数	４事業
事業費総額 （決算時）	２，４８９，０００円
交付金決定額 （うち加算額）	２，５３９，０００円 （０円）
交付金決算額	２，４８９，０００円
交付金返還額	５０，０００円

●添付資料

・実績報告書　Ｐ１　～Ｐ１３
・事後評価調書　Ｐ１４～Ｐ１７
・参考写真
（令和４年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ１８～Ｐ２１

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和5年4月10日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市上平町１丁目１番地
名称：瑞浪地区まちづくり推進協議会
代表者氏名：会長　坂井　宗明

夢づくり地域交付金実績報告書

令和４年　４月２７日付瑞浪市指令第５４号で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、瑞浪市夢づくり地域交付金交付規則第１１条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

事　業　名
安全・安心なまちづくり事業
潤いのあるまちづくり事業
地域の交流が活発なまちづくり事業
広報事業
（　　）基金積立事業

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し
５．契約書の写し（１件の支払額が５０万円を超える場合に限る。）
６．備品購入、業者選定等の選定委員会等の会議録（ステップアップ事業）

注１）不要な文字は抹消すること。
注２）上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

安全・安心なまちづくり事業

２　活動報告（活動内容等）

1, 青色回転灯防犯パトロールは、新型コロナウイルス感染防止のため一部中止して実施した。
2, 地域住民参加型の自主防災訓練は、新型コロナウイルス感染防止のため廃止した。
3, 普通救命講習会（心肺蘇生法・ＡＥＤ）は、コロナ禍事前申し込みでＡＥＤ訓練用人形を使用して実施した。
4, 健康講演会は「身近な皮膚病あれこれ」をテーマにして実施した。
5, 春の土岐川堤防健康ウォーキング春は、土岐川に架かる従来の５つの橋を渡る6,8ｋｍのコース、秋は新しく「高松観音コース」7.6㎞で事前申し込みで実施した。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

①青色回転灯防犯パトロールによる巡回　毎月第１、第３金曜日午後3時30分からと、第２、第４、第５金曜日午後7時から、22日48名で実施した。（計画：年／40日延べ120名）
（７月、８月、１２月まで新型コロナウイルス感染防止のため廃止。）
②自主防災訓練（地域での防災対策）各区役員・防災担当者150名
新型コロナウイルス感染防止のため廃止しました。
③ＡＥＤ･心肺蘇生法講座は、9月20日・21日2回の参加者35名で実施した。（計画：20名×2日40名3時間コース）（新型コロナウイルス感染防止のため参加人数を制限して実施）
④健康講演会は事前申し込みで38名の参加者で実施した。（計画：参加者60名）
⑤土岐川堤防健康ウォーキングは年2回春87名秋82名合計169名の参加者で実施した。（計画：春・秋2回×150名参加者300名）

４　事業に要した経費（総事業費）

580,059　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

542,000　　円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
４月	春の土岐川堤防健康ウォーキング申込チラシ（２色1,000枚）	印刷費	16,500
５月	ウォーキング春（駐車場変更案内）（@63円×30人）	通信費等	1,890
	青色回転灯防犯パトロール案内（@63×30人）	通信費等	1,890
	ウォーキング参加賞(粗品@700円×100人)	消耗品費	70,000
	ウォーキングゴミ袋・雑巾	消耗品費	3,772
	春の健康ウォーキング参加者へ飴・お茶の提供	食料費	14,800
６月	防災防犯部会案内（切手140円×3枚・84円×14枚）	通信費等	1,596
	防災防犯部会お茶	食料費	1,020
７月	青色回転灯防犯パトロール案内（63円×50枚）	通信費等	3,150
	救命講習会チラシ作成用紙（1000枚）	消耗品費	2,288
	自主防災訓練ノベルティー（@490円×150名）	消耗品費	80,850
	自主防災訓練協力依頼（@63円×50枚）	通信費等	3,150
８月	自主防災訓練冷感タオル（@444円×150名）	消耗品費	73,260
	自主防災訓簡易ハンドマイク（@2500×4）	消耗品費	10,000
	自主防災訓練延期案内（切手84円×35枚）	通信費等	2,940
9月	土岐川堤防健康ウォーキングチラシ（1000枚）	印刷費	17,600
	自主防災訓練中止案内（切手84円×30枚）	通信費等	2,520
	救命講習会参加者お茶（@85円×48名）	食料費	4,080
	青色回転灯防犯パトロール案内（63円×20枚）	通信費等	1,260
１０月	健康講演会申込チラシ作成（2色1,000枚）	印刷費	19,910
	青色防犯パトロールベスト（50着）	消耗品費	112,475
	土岐川堤防健康ウォーキング参加者お茶菓子（350枚×40円）	食料費	15,120
１１月	土岐川堤防健康ウォーキング参加者飴	食料費	2,370
	土岐川堤防健康ウォーキング参加者粗品（@700×100名）	消耗品費	70,000
	土岐川堤防健康ウォーキング（袋・養生テープ）	消耗品費	3,432
１２月	健康講演会講師講演会謝礼	報償費	30,000
	健康講演会参加者・講師お茶代	食料費	5,831
	健康講演会演台生花	消耗品費	5,000
	健康講演会資料コピー用紙備（2500枚）	消耗品費	2,095
	青色回転灯防犯パトロール2月案内（毎週金曜日3名で実施）	通信費等	1,260
合計			580,059

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績	備考
夢づくり地域交付金	542,000	542,000	
自主財源	43,500	38,059	
その他（　　）			
合　　計	585,500	580,059	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算	本年度実績	備考
経費区分	活動の内容				
防犯事業	**青色回転灯防犯パトロール** 住民参加の防犯活動を行う。第１、第３金曜日は小中学生下校時の午後３時３０分から、第2、第4、第5金曜日は午後７時から実施。年間40日	通信費等	9,300	7,560	
		消耗品費	112,475	112,475	パトロールベスト購入
		小計	121,775	120,035	
防災事業	**自主防災訓練** 「自然災害や火災等を最小限にするため」救助訓練や消火訓練を実施する。	消耗品費	164,110	164,110	ノベルティー購入済
		食料費	1,020	1,020	
		通信費等	10,206	10,206	
		小計	175,336	175,336	
健康づくり事業	**健康講演会** 健康に関する知識向上のため講演会を実施する。	報償費	30,000	30,000	謝礼
		消耗品費	7,095	7,095	
		食料費	8,232	5,831	
		印刷費	19,910	19,910	チラシ印刷
		通信費等	1,300		
		小計	66,537	62,836	
	土岐川堤防健康ウォーキング 地域住民が健康でいきいきと暮らすために、春と秋に実施する。	消耗品費	147,204	147,204	ノベルティー購入
		食料費	32,290	32,290	お茶代」・高松せんべい
		印刷費	34,100	34,100	チラシ印刷
		通信費等	1,890	1,890	
		小計	215,484	215,484	
安全安心事業	**救急救命講習会** 緊急時の対応について学ぶ。	消耗品費	2,288	2,288	
		食料費	4,080	4,080	お茶代」
		印刷費	0	0	
		小計	6,368	6,368	
合　　計			585,500	580,059	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

潤いのあるまちづくり事業

２　活動報告（活動内容等）

①　地域の花壇等に植える花の苗を配布した。
②　美化啓発マスク配布活動は、新型コロナウイルス感染防止のため廃止した。
③　6月には沢山の源氏蛍が舞い、地域の子ども会「瑞子連」と近隣の皆さんで「蛍鑑賞会」を実施した。
10月5日瑞浪小学校で、万尺川の環境美化と蛍の生態について「ミニ蛍教室」を実施した。
今年3月14日瑞浪小学校生徒、25日「瑞子連」の親子と近隣の皆さんの2回ミニ蛍教室実施後「万尺川に蛍を取り戻すため」200匹以上の幼虫を放流した。環境美化活動としての万尺川のゴミ集めは前日までの雨による増水で中止した。
④　絵手紙・ちぎり絵教室は、体験することで手書きのすばらしさや温もりをと参加者相互の「ふれあい」を感じていただく教室を行った。
（試行事業）
①　環境指標生物でもあるにほんミツバチの分蜂群誘導巣箱設置し環境保全活動を行た。
②　男女共同参画活動「男女共同参画社会」”人生100年の時代へ”は新型コロナウイルス感染防止のため廃止した。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

①　花の苗の配布　32団体に、春4,120ポット・秋3,340ポット合計7,460ポットを配布した。（計画：7,460ポット）
②　美化啓発マスク配布は、新型コロナウイルス感染防止のため廃止した。
③　10月5日蛍の生態と万尺川の環境美化について「ミニ蛍教室」を瑞浪小学校で生徒10名を対象にを開催した。
3月14日瑞浪小学校生徒7名と先生4名で、中央公園東側の万尺川に蛍幼虫約100匹放流した。
3月25日「瑞子連」の親子と近隣の皆さん54名が参加して、ミニ蛍教室実施後「万尺川に蛍を取り戻すため」200匹以上の幼虫を放流した。環境美化活動としての万尺川のゴミ集めは前日までの雨による増水で中止した。
④　絵手紙・ちぎり絵教室を参加延べ人数80名が参加して教室を５回開催した。1回は新型コロナウイルス感染防止のため廃止した。（計画：6回180名）
（試行事業）
①　ニホンミツバチの誘引効果がある花、ラン科のキンリョウヘンなどを準備し捕獲準備しましたが、分蜂の捕獲に失敗した。
②「男女共同参画社会」に関する講演会は、新型コロナウイルス感染防止のため廃止した。

４　事業に要した経費（総事業費）

685,134 円

５　夢づくり地域交付金充当額

663,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動スケジュール、活動の内容　　（潤い）

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
５月	男女共同参画講演会チラシ作成（1000枚）	印刷費	16,500
	ホタル観賞会用安全ロープ	消耗品費	1,780
６月	花の苗配布植え付け届郵送（切手140円×13枚）	通信費等	1,820
	蛍の幼虫餌（@4,895円送料込／kg×2kg）	消耗品費	9,790
	花の苗配布（@65円×4,120ポット）	消耗品費	268,350
７月	蛍の幼虫餌（@4,895円送料込／kg×2kg）	消耗品費	9,790
	蛍の幼虫飼育水槽セット代（瑞浪小学校へ）	消耗品費	14,820
	蛍の幼虫飼育ろ過	消耗品費	5,280
	蛍の幼虫飼育水槽セット代（一色区市川宅）	消耗品費	10,985
	蛍の幼虫餌（送料込／3kg）	消耗品費	13,640
９月	蛍の幼虫餌（@4,895円送料込／kg×2kg）	消耗品費	9,790
	絵手紙教室貸出セット	消耗品費	5,526
１０月	絵手紙講師謝礼	報償費	10,000
１１月	花の苗配布（@65円×3,500ポット）	消耗品費	217,650
１２月	蛍勉強会案内（@63円×30枚）	通信費等	1,890
	蛍の幼虫餌（@5,000円送料込／kg×2kg）	消耗品費	9,790
１月	蛍飼育指導料	報償費	10,000
	絵手紙・ちぎり絵教室のり代（6本）	消耗品費	217
２月	文化祭展示用ポリ板	消耗品費	2,978
	蛍の幼虫餌（送料込／kg×5kg）	消耗品費	6,290
３月	ミツバチ分蜂用巣箱1台	消耗品費	13,500
	蛍の幼虫飼育　水槽・ポンプ	消耗品費	8,467
	蜜蜂巣箱清掃	消耗品費	2,497
	蜜蜂収集用キンリョウヘン　（3ポット）	消耗品費	15,000
	蛍の幼虫餌（送料込／kg×5kg）	消耗品費	6,290
	蛍の幼虫放流会（お茶・お菓子）	食糧費	12,494
合計			685,134

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	663,000	663,000	
自主財源	25,200	22,134	
その他（　　）			
合　　計	688,200	685,134	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容				
花の苗配布	コミュニティ花壇整備事業で花の苗を春と秋に地域の団体に配布し潤いのある地域環境づくりを推進する。	消耗品費	486,000	486,000	花の苗代
		食料費	1,820	1,820	
		通信費等	0	0	
		小計	487,820	487,820	
美化啓発活動マスク配布	美化啓発のメッセージを書いたマスクをJR瑞浪駅前で配布する。	消耗品費	0	0	事業廃止
		食料費	0	0	
		小計	0	0	
万尺川に蛍を	環境美化保全を推進するとともに、家族の絆を強くする。	報償費	10,000	10,000	
		消耗品費	115,875	106,712	エサ台・水槽ポンプ
		通信費等	0	1,890	
		食料費	5,279	12,494	ミニ蛍教室お茶代
		小計	131,154	131,096	
絵手紙教室	絵手紙を体験することで、参加者相互のふれあいを感じると同時に「つながり」と「楽しさ」を味わい絆を強くします。	消耗品費	5,526	8,721	絵手紙用葉書・筆・パレット代
		報償費	10,000	10,000	謝礼
		印刷費	0	0	
		通信費等	3,200	0	
		小計	18,726	18,721	
試行事業	環境保全事業（ニホンミツバチ飼育） 街の美化と環境保全事業として取り組んでいくため、環境指標生物である「ニホンミツバチ」の生態調査を	消耗品費	34,000	30,997	巣箱・誘引材料
		通信費等	0	0	
		食料費	0	0	
		小計	34,000	30,997	
	男女共同参画事業（男女共同参画社会） まちづくり事業活動に、女性が参加していただくためにも「正しい男女共同参画とは」	報償費	0	0	事業廃止
		印刷費	16,500	16,500	
		小計	16,500	16,500	
合　　計			688,200	685,134	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

地域内の交流が活発なまちづくり事業

２　活動報告（活動内容等）

① コロナ禍、役員が中心となり、もち米の苗・里芋苗・さつま芋苗・ポップコーン用トウモロコシ苗の植え付けを行った。
② 役員が中心となり、稲刈りを実施した。
③ 地域の交流を深めるためとともに家族の絆を強くする目的で「芋ほり大会」を実施した。
④ 草刈りなどの農作業を4月から3月（肥料散布）まで行った。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

家族ふれあい芋ほり大会
・田植え、芋の植付け82名（予定：50名）、稲刈りに26名（予定：10名）、
・芋ほり大会：参加者は大人116名小人112名と中学生ボランティア及び地域の方で合計277名の参加がありました。
・草刈りなどの農園管理に延べ194名が参加した。

４　事業に要した経費（総事業費）

797,347　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

784,000　　円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動スケジュール、活動の内容　　（地域内交流）

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
４月	田植え・芋の植付けチラシ作成（2色3000枚）	印刷費	34,375
	耕耘機燃料（30L）	光熱水費	5,192
	種芋（里芋）11Kg	消耗品費	11,880
５月	ふれあい農園耕運機燃料	光熱水費	2,720
	農園肥料	消耗品費	13,282
	田植え会場準備・マルチ・モチ米31966の苗	消耗品費	31,966
	田植え会場案内（切手84円×13枚）	通信費等	1,092
	耕耘機修理代（うね切取り付け）	手数料	2,700
	田植えお茶・ジュース・菓子（子ども50人分）	食料費	21,914
	傷害保険（損保ジャパン年間保険料）	保険料	21,210
６月	草刈り・草取りお茶（@100円×30人×2日）	食料費	1,952
	ふれあい農園農具の購入（カマ５丁）	消耗品費	2,256
７月	草刈りチラシ（回覧500、一般）	印刷費	16,500
８月	草刈り・草取りお茶（@100円×20人×2日）	食料費	4,304
	稲刈り準備（草刈り替え刃・雀おどし）	消耗品費	2,778
	第３回芋ほり大会チラシ（5000枚）	印刷費	39,490
	耕耘機・稲刈り機使用・駐車場謝礼	光熱水費	3,380
９月	草刈りお茶・稲刈りお茶・お菓子	食料費	13,731
	稲刈りマルチ、紐	消耗品費	4,739
１０月	芋掘り準備お茶（@100円×30人×3日）	食料費	1,463
	モチ米精米代	手数料	2,000
	芋掘り大会準備（軍手・そえ棒・荷札）	消耗品費	23,582
	芋掘り大会賞品（スーパー商品券）	報償費	17,000
	芋掘り大会（精米・赤飯・ポップコーン）	賄材料費	65,000
	芋掘り大会（ジュース、お茶等）	食料費	114,911
	芋ほり案内（切手84円×70枚63×50枚）	通信費等	9,030
１１月	農園耕運機、稲刈り機借用及び運用費謝礼（4月から12月）	報償費	20,000
	耕耘機燃料（20L）	光熱水費	2,700
１月	耕耘機借用・耕運機運用謝礼	報償費	20,000
	公民館使用料	使用料等	20,000
	田畑使用・農園駐車場謝礼（4月～3月）	報償費	10,000
2月	草刈り機購入（斜面草刈り機）	備品費	250,800
3月	堆肥搬送お茶	食料費	5,400
合計			797,347

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	784,000	784,000	
自主財源	20,900	13,347	
その他（　　）			
合　　計	804,900	797,347	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	予算額	変更後	備考
経費区分	活動の内容				
家族ふれあい芋ほり大会	地域の交流を図るため、家族ふれあい農園で餅米・さつま芋・里芋とポップコーン用のとうもろこし苗の植付けから収穫まで行う。収穫作業を体験すると同時にいもほり大会を実施。１位から１０位までの順位を決め表彰する。	報償費	67,000	47,000	
		消耗品費	99,483	90,483	肥料・縄・備中
		食料費	160,728	228,675	おこわ・お茶・ジュース
		印刷費	90,365	90,365	チラシ印刷代
		光熱水費	13,992	13,992	耕耘機燃料代
		賄材料費	65,000	0	
		通信費等	11,622	10,122	芋ほり大会案内
		保険料	21,210	21,210	
		手数料等	4,700	4,700	
		使用料等	20,000	40,000	公民館使用料・耕運機
		備品費	250,800	250,800	四輪草刈り機購入
合　　計			804,900	797347	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

広報事業

２　活動報告（活動内容等）

① 広報紙の発行
まちづくり推進協議会の活動を住民に紹介し、事業の理解と事業への参加を促進するため、まちづくり新聞を年2回（８月・３月）全ページカラーで発行します。
② フェイスブック、ホームページの更新を月1回以上、及び動画を年6回はアップし、アクセス数閲覧数の増加に努めます。
③ その他の広報事業
瑞浪中学校、瑞浪小学校、上山田、ふれあい農園の「まちづくり活動」標語案内の野立て広告板4枚を貼替え補修します。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

① 瑞浪地区約4,000戸の全戸に、まちづくり新聞の全ページカラー発行で45号（8月1日）と46号（3月1日）を２回行った。（計画：発行2回）
② フェイスブックは25回、まちづくりホームページは開催事業の前後に9回更新した。
（計画：フェイスブック　月1回以上更新　ホームページ　12回以上更新）
③ 「まちづくり活動」をＰＲするため設置された野立て看板に汚染、変色、破損及び剥離があるため5箇所（検査での貼替指導１個所含む）の貼替を行った。（計画：4箇所　瑞浪中学校、瑞浪小学校、ふれあい農園、若葉公園　指導箇所1箇所：万尺公園）

４　事業に要した経費（総事業費）

501,050 円

５　夢づくり地域交付金充当額

500,000 円
（内、交付金加算額　　円）

7　活動スケジュール、活動の内容　　（広報）

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
7月	第45号まちづくり新聞発行（全頁カラー）	印刷費	173,250
10月	野立て広告看板貼替（4枚瑞浪小中各1枚他計4枚）	手数料等	122,650
1月	野立て広告看板貼替（摩耗指摘貼替コンテンツ）	手数料等	24,550
	野立て広告看板貼替	手数料等	7,350
２月	第46号まちづくり新聞発行（全頁カラー）	印刷費	173,250
合計			501,050

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	500,000	500,000	
自主財源	22,000	1,050	
その他（　食品チケットの販売　）			
合　　計	522,000	501,050	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容				
広報誌まちづくり新聞発行事業	まちづくり事業の理解と参加を促進するためにまちづくり新聞を発行する。	印刷費	360,000	346,500	まちづくり新聞発行
		食料費	2,000	0	
		通信費等	2,000	0	
		小計	364,000	346,500	
フェイスブック・ホームページの更新	まちづくり事業の開催案内の周知、開催結果を動画を交えて更新する。	消耗品費	20,000		
		食料費	4,000	0	
		通信費等	4,000		
		手数料等	0	24,550	
		小計	28,000	24,550	
その他の広報	野立て広告劣化のため貼替補修をする。	手数料等	130,000	130,000	野立て看板貼替
		小計	130,000	130,000	
合　　計			522,000	501,050	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　瑞浪地区
事業番号　1
事業名　安心・安全なまちづくり事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りが充分出来なかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	① 青色回転灯パトロールによる巡回：毎週金曜日延べ120人参加します。 ② 自主防災訓練：地域での防災対策として各区役員と防災担当者含めて150人参加します。 ③ AED・心肺蘇生法講座：2回（3時間講習）コロナ禍各20人計40人参加します。 ④ 健康演会皮膚病」の開催：1回　60人参加します。 ⑤ 健康ウォーキング：参加者150人×2回　300人参加します。	4
		実績値	① 青パト：新型コロナウイルス感染防止のため7月8月12月は中止しました。22日間で参加者48人です。 ② 自主防災訓練：新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。 ③ 普通救命講習会：新型コロナウイルス感染防止のため参加人数を制限して2日間の参加者は35人です。 ④ 健康講演会：事前申込で「身近な皮膚病あれこれ」をテーマに参加者は38人です。 ⑤ 土岐川堤防健康ウォーキング：事前申し込みで春秋年2回実施、参加者は169人です。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	近年ライフスタイルの多様化や暮らし方に対する価値観の違いにより、「住民同士のつながり」は希薄化し、弱体化や機能低下になりつつある。住民が安心して暮らせる安全なまちを作るため、住民による防犯・防災対策と、助け合おうとする意識の向上が特に必要です。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				25
今後の事業展開の方向性		1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		・新型コロナウイルス感染防止のため中止となった事業もありましたが、参加者を把握するため各事業事前申し込みを行い、参加人数を制限するなど可能な限り事業を行いました。 ・瑞浪地域において、安全・安心に暮らせる為の重要な活動と認識しており、継続して取り組んでいきます。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	瑞浪地区
事業番号	2
事業名	潤いのあるまちづくり事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りが充分出来なかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	① 花の苗の配布：25団体に春・秋の2回 各3,500ポット合計7,000ポット配布します。 ② 美化啓発マスク配布：美化啓発メッセージ印刷の「マスクセット」1,000セットJR瑞浪駅等で配布します。 ③ 万尺川に蛍を:環境美化保全を目的に「万尺川に蛍を」事業を地域住民と小学生と一緒になって清掃活動を行い、幼虫500匹放流します。 ④ 手書きのすばらしさ参加者相互のふれあいを感じ「つながり」「楽しさ」を味わっていただきます。年6回開催180人の参加者で開催します。 試行事業街 ⑤ ミツバチプロジェクト：ミツバチ誘引花キンリョウヘンをセット分蜂に成功します。 ⑤ 男女共同参画事業：人生100年の時代へ地域住民としてどのように向き合うのか、講師を招き1回30人の参加者で講習会を開催します。	4
		実績値	① 花の苗の配布：春32団体・秋29団体の61団体に7,460ポットを配布しました。 ② 美化啓発マスク配布：新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。 ③ 万尺川に蛍を：10月瑞浪小学校生徒、3月子ども会「瑞子連」の親子と近隣の蛍里親など64人が参加して、蛍の生態と万尺川の環境美化について「ミニ蛍教室」開催しました。開催後蛍の幼虫200匹を万尺川に放流しました。万尺川のゴミ集めは、雨による増水で出来ませんでした。 ④ 絵手紙・ちぎり絵教室：参加者80人が参加して5会開催しました。1回は感染防止で中止しました。 試行事業 ⑤ ミツバチプロジェクト：分蜂群誘導巣箱1台を設置しましたが、分蜂に成功していません。 ⑥ 男女共同参画事業：新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	コロナ禍で、新しい生き方新しい生活様式の実践が求められています。瑞浪地区が、住みやすく潤いのある美しく豊かな生活が出来るために、コミュニティ花壇の整備や環境美化啓発・環境保全活動を行い笑顔あふれ元気な地域づくりが求められている。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		5
合計点				26

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	・美化啓発や環境保全は即効性が期待できないため、5年10年継続した取り組みとして行っていくことが必要です。 ・コロナ禍、まちづくりイベントは参加者を把握するためすべての事業を事前申し込みとし、実施に当たっては、密接をできる限り避け消毒・体調管理・体温測定を実施し感染防止対策を行い実施しました。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	瑞浪地区
事業番号	3
事業名	地域内の交流が活発なまちづくり事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りが充分出来なかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	地域ぐるみ家族ぐるみで事業を開催し、家族を軸に地域的な連帯感に支えられた、人間らしい近隣生活を営む基盤をつくるきっかけとします。田植え、芋の植付け50人、稲刈り50人、農園管理延べ 300人。芋ほり大会は100人予定します。	5
		実績値	① 5月15日の田植え、芋の植え付けに役員・地域の協力者82人参加しました。 ② 9月18日の稲刈りに、役員・地域の協力者26人参加しました。 ③ 10月30日「芋ほり大会」に62家族228人、小学校先生、中学生ボランティアと役員49人合計277人の参加がありました。地域社会貢献企業として(株)ダイナム様がゲーム等でイベントに参加していただきました。 ④ 5月から9月までの草刈りなど維持管理活動で述べ194人の参加がありました。 変更追加 借り受け地をイベント開催時の駐車場として利用しています。駐車場の草刈りや、農園に接する万尺川の斜面を安全に草を刈るために、車輪付き傾斜面草刈り機の購入をしました。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解決	課題の内容	地域では住民同士の関係が希薄になっており、また、家庭では家族の会話が不足しているといわれます。 地域や家族で参加できる事業を開催、家族や地域の絆を強くし、これらを解消するきっかけの一つとなる機会を提供します。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		5
合計点				29

今後の事業展開の方向性	1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	・コロナ禍、今年度もこんな時こそ「地域の皆さんに元気を取り戻してほしい。」「コロナ前の生活を取り戻してほしい。」との思いで、事前申し込みによる家族単位の参加で実施しました。 ・参加のご家族が元気な笑顔と楽しい会話で芋を掘っていただき、まちづくり「家族ふれあい農園」で育ったモチ米を使った「おこわ弁当」をお土産に皆さん大喜びで自宅への帰路についていただきました。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　瑞浪地区
事業番号　4
事業名　広報事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りが充分出来なかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	① 広報誌の発行:まちづくり活動を住民に紹介し、事業の理解と各事業への参加を促進するめ、まちづくり新聞を全ページカラーで年2回発行します。 ② フェイスブック・ホームページの更新:フェイスブック・ホームページを随時更新、アクセス数の増加に努めます。 ③ その他の広報事業 16年前(平成18年)にまちづくり活動をPRするために、野立て看板が瑞浪地区の公園内など中心に、12箇所14枚設置されました。長期間風雨にさらされ表示面の汚染、変色、剥離などの異常がある、既存の野立て看板(瑞浪中学校、瑞浪小学校、若葉公園、ふれあい農園)4枚を貼り替えます。	4
		実績値	① 広報誌の発行:45号(8月1日号)、46号(3月1日号)の年2回(1回5,000部)発行し瑞浪地区に全戸配布しました。 ② フェイスブック・ホームページの更新:フェイスブックの月2回以上更新、ホームページの更新は9回行いましたが動画更新は編集等の準備不足により出来ませんでした。 ③ その他の広報事業 「まちづくり活動」をPRするため設置された野立て看板に汚染、変色、破損及び剥離があるため5箇所の貼替を行ないました。(点検での貼替指導1箇所含みます。)	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	まちづくり活動への参加と理解と協力を得るため利用可能なツールを活用し、協議会の活動を若者はもちろん高齢者を含む住民全員に、イベント案内から活動報告を詳しく周知するとともに一層共有する必要がある。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				24

今後の事業展開の方向性	1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	①行事ごとにPRや実施の報告をまちづくり新聞はもちろん、フェイスブックやまちづくりホームページで行いました。 ②今後は紙ベースの情報発信だけでなく、個人情報には注意し,YouTube・フェイスブック・ホームページの更新をリアルタイムに実施し、まちづくり活動をPRしたい。 ③引き続き新聞、チラシにホームページへのQRコードを印刷しホームページのアクセス数を増加させたい。